

## MUFG ファースト・センチア サステナブル投資研究所の所長就任について

三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長 <sup>ながしま いわお</sup>長島 巖、以下 三菱UFJ信託銀行）は、傘下の資産運用会社 First Sentier Investors（以下 FSI）と共に、サステナブル投資における協働コミットメントの一環として、MUFG ファースト・センチア サステナブル投資研究所\*（以下 研究所）を2021年5月11日に新設し、リサーチ情報の提供を開始しています。

研究所は、2021年9月1日付で、ヴェリーナ・カラジョヴァ（Velina Karadzova）が所長に就任しましたのでお知らせいたします。

### 1. 研究所の目的

環境・社会課題への意識が高まり、サステナビリティを巡る議論が注目を集める中で、世界の投資家はサステナブル投資への取り組みを進めるために中立的で実践的なリサーチ情報を求め始めており、そのニーズは今後さらに高まることが見込まれます。研究所は、中立的で実践的なリサーチ情報をご提供することにより、サステナブル投資の普及と世界の資本市場の発展に貢献していくと共に、幅広いステークホルダーと共に社会課題の解決に向けて取り組み、「安心・豊かな社会」の実現を目指しています。

### 2. 研究所の取り組み

本研究所は、欧州・米国・日本の外部学術者の方々に参加いただく「アカデミック・アドバイザー・ボード」を設置し、サステナブル投資を巡る業界のトレンドや市場の関心等を中立的な視点から議論し、本研究所のリサーチ領域やレポートのテーマなどを特定してまいります。リサーチ領域はESGに関するマクロ面・制度面の変化、企業・セクター・経済・社会・自然環境等に与えるインパクト、投資パフォーマンスの影響など、幅広いテーマを対象としています。「マイクロプラスチック（細かい粒子状・繊維状のプラスチック）汚染：その原因・影響と投資家にとっての課題」に関する第一弾レポート（<https://www.mufg-firstsentier-sustainability.jp/research/microplastics-05-2020.html>）に続き、現在、その続編として、海洋に流入するマイクロプラスチックの35%を占める「マイクロファイバー（着用時の摩擦や洗濯により微細化された繊維）の影響」に関するレポートのご提供を予定しています。

### 3. 所長に就任したヴェリーナ・カラジョヴァの略歴

前職はMSCIで公益事業セクターのESGアナリスト。分析手法の高度化やESGレーティング、スクリーニング、インパクト分析に関する新サービスの開発に従事。Moody'sでは同セクターのクレジットアナリスト業務に従事、PwCでは監査業務も経験。英国ポーツマス大学で国際金融・貿易の学士号、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスで会計・財務の修士号を取得。研究所では、最新のサステナビリティに関する動向や市場のトレンドが投資活動や経済活動に与える影響を調査・分析し、投資家に中立的で実践的なレポートを提供してまいります。

\* MUFG ファースト・センチア サステナブル投資研究所 Web サイト

<https://www.mufg-firstsentier-sustainability.jp>

以上

（照会先）三菱UFJ信託銀行 アセットマネジメント事業部 責任投資推進室 加藤正裕 050-3689-6433